

竜東一貫水路

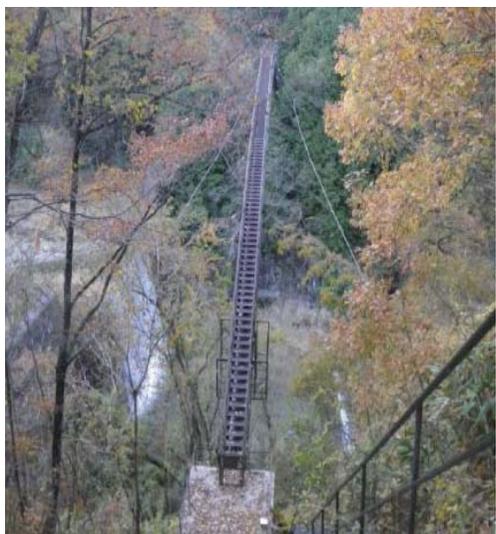
りゅうとういっかんすいろ

竜東地域の段丘上へ水供給を

「県営灌漑排水事業」として建設された一貫水路。

小渋ダムから松川町生田部奈までは発電用水と共用であるが、生田から農業用として分派し、飯田市下久堅まで流れる用水路。1967(昭和42)年着工、1979(昭和54)年に完成したこの用水路により、既成田407ha、開田141ha、畑地238haの計786haが灌漑されるようになった。

谷を渡る箇所には、虻川水路橋や小川サイフォンを見ることができる。



虻川水路橋



小川サイフォン

虻川水路橋



完成記念碑(伴野原地区)



小川サイフォン

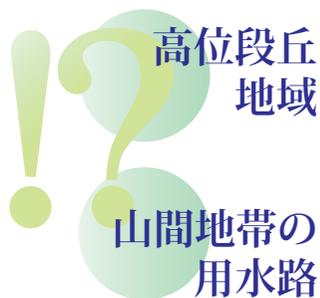
information

□ アクセス

(虻川水路橋)
松川ICから15km
車→30分

□ 所在地

松川町、豊丘村、
喬木村、飯田市



高位段丘
地域

山間地帯の
用水路

竜東地域の段丘上の人々は、南アルプスの前山である伊那山脈に水源を依存してきたが、伊那山脈から流出する13の支・溪流の水量は極めて少なく、さらにこれらの各支川は、段丘面と河床との高低差が100~200mに達する深い谷をつくっているため、各村は用水確保に困難をきたしていた。

幹線水路は山間地帯を貫くため、総延長距離16.7kmの96%が隧道(10.9km)と逆サイフォン部分(5.2km)で占められ、開渠・暗渠等はわずか0.6kmである。



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)